

ご当地ナンバー導入に関する請願

令和4年6月1日

館山市議会議長 石井敬之様

請願者代表 住所 館山市大神宮1355
氏名 石井崇
外 227 名

紹介議員

龍崎 滋
室 厚美

請願事項

本年4月に国土交通省から発表された、新たな地域名表示（ご当地ナンバー）の追加を含む「地方版図柄入りナンバープレート」の導入募集に関して、安房地域の経済・観光振興を目指し、三市一町で協力して、ご当地ナンバーの導入を要望致します。



請願の趣旨

(1) 全国的なご当地ナンバー普及の背景

2004年、国土交通省は地域振興や観光振興等の観点から、ナンバープレートの地域名表示を弾力化し、新たな地域名表示ナンバープレート（いわゆるご当地ナンバー）を認めることとし、適用地域の募集を行いました。その後も、全国各地からの要望に応える形で、導入条件を緩和しながら段階的にご当地ナンバーの導入と普及を進めてきました。

また、2018年には地域の風景や観光資源を図柄にした地方版図柄入りナンバープレートの交付を開始しました。フルカラーの図柄入りナンバープレートについては、寄付金（1,000円以上）をお願いし、導入地域における交通改善、観光振興などに資する取組みを支援しています。

そして今年度、国土交通省は「地方版図柄入りナンバープレート」の追加募集を行うことを発表しました。さらなる普及を図るために、ご当地ナンバーの導入基準が緩和され(*)、安房三市一町で取り組めばこの条件を満たすこととなります。

*複数の市区町村を含む地域内の登録自動車数が概ね5万台を超えている、または登録自動車と軽自動車の数の合計が概ね8.5万台を超えていること。

各自治体では、ナンバープレートに地名を表示することにより、「地域に対する愛着の醸成」や「走る広告塔としての知名度アップ」という効果を期待して、様々なご当地ナンバーが誕生しています。

(2) 安房三市一町でのご当地ナンバー導入の狙い

自動車のナンバープレートには原則、所有者の住所を管轄する運輸支局もしくは、自動車検査登録事務所の所在地が表記されることになっていて、安房地域でも現在使われているのは袖ヶ浦ナンバーです。

ただ、安房地域と袖ヶ浦では土地柄に共通点は少なく、特に地域に愛着を持つ人達や、この地域を選んで移住してくる人たちにとって、袖ヶ浦というナンバーに違和感を持つ人も増えています。袖ヶ浦ナンバーで走っていても、安房の地域振興や観光振興に繋がることがありません。

館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の三市一町が共通のご当地ナンバーを導入する場合、全国的な知名度や地域内での使用実績から、いずれかの市の名称、または「安房」「房州」「房総」などが候補として考えられますが、いずれにしてもこれらご当地ナンバーを取得することができれば、この地域の知名度アップに繋がるだけでなく、次世代を担う若者に、これまで以上に当該地域に誇りと愛着を持ってもらうことも期待できます。さらに、ご当地ナンバーの導入をきっかけにして、安房広域連携へ意識も高まります。

地方版図柄入りナンバープレートの導入が認められた場合、その後、自動車を新規に登録または変更登録等の際に、新たなプレートに変更されることになり、利用者が寄付金 1,000 円以上を支払うとカラー版の図柄入りを選べるようになります（白黒や図柄なしの場合は寄付金なし）。

今回の募集スケジュールをみると、本年 11 月末までにご当地ナンバー意向表明書を提出することとなっていますので、このタイミングで動き出さないと今回のご当地ナンバーの導入は間に合いません。館山市が安房地域のリーダーとして、ご当地ナンバー導入に向けて、近隣市町との協議を早急にまとめ、地方版図柄入りナンバープレートの導入を実現されるよう要望致します。

以上

添付資料：地方版図柄入りナンバープレート導入要綱（一部抜粋）